



CONTENTS

- 1頁・平成から令和へ 奈良東病院の未来
 2頁・コフフン・天理本通りdeかくれんぼ
 ・天理市との協定(災害時の福祉避難所)締結について
 3頁・訪問型サービスCの必要性
 ・活力溢れるレクリエーションを目指して
 4頁・エバーライフ春の日帰りツアー
 ・第29回 ふれあい祭りのご案内



第123号 ふれあいの里

〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者:鉄村 信治

編集:ふれあいの里広報委員会

<https://www.fureai-net.com/>

平成から令和へ 奈良東病院の未来

～ 看護部長就任にあたり目指すもの ～

医療法人健和会 奈良東病院 看護部長

寺田 朱美

奈良東病院は高齢者医療・看護・介護を専門とした病院として、平成元年に開設されました。当時、これから迎える高齢社会に対応するため、日本が高齢者の保健福祉を推進する政策を打ち始めたころでした。

「介護」という言葉自体も一般に周知されていませんでしたし、老年看護学は専門領域として確立されておらず、成人看護学の中で老年期の看護を少し習う程度の時代でした。

このような状況の中、前任の棚田看護部長をはじめとする諸先輩方は、高齢者医療や介護のあり方、認知症ケアについてなど、未知の看護に試行錯誤しながら取り組んでこられました。

私は平成5年にこの病院に入職し、先輩方の後を追いかけてながら老年看護を学んできました。私は患者様が病気や障害を持ちながら生きていく中で感じる、苦しみや悲しみ、不安や恐怖、くやしさを思い図りながら、毎日少しでもうれしいとか楽しい、おいしいや気持ち良いと感じていただけるようなケアを大切にしたいと思っています。自分が大切にされていると感じると「こんなことがしたい」「あれを食べたい」「もう少し頑張ってみよう」と自分を大切にする気持ちが湧いてくると思うからです。その思いをサポートすることが私たちの役割であり、人の尊厳を守ることにつながると考えます。

「医療がサービス業であることを認識する」これは奈良東病院の理念です。サービス業とは人の欲求をアシストすることを主な仕事とします。慢性期病院には、基本的欲求だけでなく、より高次の欲求を満たすことができる医療・看護・介護の力が必要です。私たちはこの理念を基に、奈良東病院に求められる知識・技術・態度を探究し続けてきたと思います。



この度看護部長を拝命し、看護部門の管理責任を果たしていく私がすべき事を考えたとき、この理念とそれに続く目標ひとつひとつに、その答えがあることに気付きました。積み重ねられてきた経験と実績は私たち組織の財産であり、これからは私たちがこれを守り、さらなる成長を遂げていくことが責務であると感じています。また今後は病院の中だけでなく、地域の中の多くの職種や関係機関とも連携して、地域包括ケアシステムの構築による地域づくりを進めていくことがますます重要になってきます。その人の思いに寄り添い、その人らしい人生をどう生き抜くかをサポートできる知識・技術・感性・チーム力を身につけられるよう、日々研鑽に努めていきます。そしてその力を効果的に発揮できるよう、職員がいきいきと働き続けられる環境も整えていきたいと思っています。

地域に選ばれる病院、職員に信頼される看護部を目指し、奈良東病院に集まる人々が「ここに来て良かった」と思っただけよう、周囲に協力を得ながら、より一層努力していきたいと思います。

健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

コフフン・天理本通りdeかくれんぼ

～みまもりあい・たすけあいのまちづくりのために～



令和元年5月18日に社団法人セーフティネットリンケージ様が展開されているみんなで助け合える仕組みづくりを育てる『みまもりあいプロジェクト』に奈良東病院グループも高齢者見守り事業活動の一環として協力し、「コフフン・天理本通りdeかくれんぼ」を開催しました。

このイベントは行方不明者捜索訓練を模したゲーム式のもので、「行方不明者が出た」という設定で専用のスマートフォンアプリを使い、アプリ内で確認できる情報を頼りに行方不明者の捜索を体験してもらうスタンプラリーです。この日は、家族連れなど113名の方にご参加いただきました。

スタンプラリーで使用した『みまもりあいアプリ』は個人情報保護するフリーダイヤルとID番号を活用して、探している人や物を地域のみなさんに協力してもらい探してもらうことができるアプリです。

検索依頼を出した方を中心に一定範囲に在るアプリ登録者に情報が配信される仕組みになっており、『協力します』ボタンを押すと、アプリ内に顔写真や特徴、声のかけ方などの詳細が表示され、その情報を基にみんなで捜索するというものです。

今回の行方不明者役は6名。参加者はスマートフォンを片手



にコフフンと天理本通り商店街の決められた範囲、東西およそ800メートルの範囲を捜索してもらいました。

参加した子供たちは探偵気分で見つけると「いたっ!」と駆け寄ったり、決められた方法で声をかけてスタンプを集め、景品のお菓子の掴み取りを楽しんだり、同時に開催していたヨガ体験をしたりとたくさんの笑顔が生まれるイベントとなりました。

奈良東病院グループとしても、少しでも安心して暮らせるまちづくりのために、この取り組みを広げていきたいと考えています。みまもりあいたすけあいのまちづくりのために、スマートフォンをお持ちの方は、ぜひアプリをダウンロードしてご協力ください。



Androidの方



iPhoneの方



～ご参加いただいた皆様のご感想～

- ★ゲーム感覚で参加できて楽しかった。
 - ★みんなで探してもらえるような環境になるのは、高齢者だけではなく、子どもたちやその親としてもとても助かると思う。
 - ★認知症で行方不明になり見つからないままの人もいると聞けど、この仕組みが広がれば早く発見できるし、安心できる地域になると思うので、ぜひ取り組みを広げてほしい。
- など、たくさんのご感想をいただき、ありがとうございました。

「コフフン・天理本通りdeかくれんぼ」の様子が動画でご覧いただけます。

※ご利用の際はパケット通信料が発生いたします。



(天理市北部地域包括支援センター センター長 小西 大志)

天理市との協定(災害時の福祉避難所)締結について



南海トラフ地震の発生確率は10年以内に30%、30年以内では70～80%と言われています。奈良県には地震を起こす8つの活断層が存在し、中でも天理市に最も大きな被害をもたらすのは「奈良盆地東縁断層帯地震」で、この地震活動は南海トラフ沿いで周期的に発生するプレート境界地震と密接な関係にあると言われています。

南海トラフ地震でのマグニチュードが8～9であっても、天理市内で観測される最大震度は5強にもなり、「奈良盆地東縁断層帯地震」で最大震度7強や6強、6弱が発生した場合、市内全域で停電・断水が発生し、公共交通機関が不通、市内道路等も液状化現象等により通行困難となります。

それに伴い、市内全域が一時的に陸の孤島となり、多くの避難困難者が出てくるものと考えられます。中でも高齢者、特に自

宅介護中の要介護認定者の方は一般避難所には避難できず、介護機能の充実した施設での一時的避難が必要不可欠となります。

このようなことから、それぞれの事業所が保有する、施設・車両・マンパワー等の資源が地域の重要な防災力と考えられ、官民一体となった防災対応能力の強化が必要となります。この度、天理市から地域貢献活動の一環として、社会福祉法人大和清寿会を含めた、市内4ヶ所の事



業所に対して震災時の福祉避難所としての協力依頼があり、平成31年3月26日付けで、鉄村理事長等出席の下、天理市と合計4ヶ所の福祉事業所が「福祉避難所の設置運営に関する協定」に調印しました。

(特別養護老人ホーム清寿苑 次長 上原 一志)

利用者様の希望に寄り添い、支援することで見えたもの

～訪問型サービスCの必要性～



以前より病院内でのリハビリテーションを行う中で、退院後の生活や外来リハビリ終了後の生活について、実際に家事動作や公共交通機関の利用などのアドバイスはするものの本人の不安などにより練習できず、実現に至らなかったケースが多々ありました。

そこで、平成30年度より訪問型サービスCの必要性を天理市に働きかけ、天理市や地域包括支援センターと会議を重ね、平成31年4月より、天理市の総合事業として訪問型サービスCの実現に至りました。

訪問型サービスCとは、3ヶ月程度の短期間で保健・医療の専門職が居宅での相談・指導を行うサービスです。対象は要支援1または2の方とサービス事業対象者で、基本的に訪問介護や通所介護の卒業に意欲のある方となっています。

奈良東病院リハビリテーション科は天理市の委託を受け、今年4月より初めての利用者のA様を担当させていただくことになりました。A様は自分のことは自分でできるようになりたいという意思をお持ちでしたので、訪問介護を卒業できるよう買い物と掃除の練習を中心に行うと同時に、通いの場や日々の

ウォーキングでの運動負荷量の設定や運動時の姿勢などをアドバイスさせていただきました。

また図書館に行きたいという希望があったため、本をリュックに入れて駅から図書館までの距離を歩けるように練習したり、お風呂で肩まで浸かりたいという希望もあったため、奈良健康ランドに公共交通機関を利用して通い、入浴時に脱臼肢位をとらずに入浴できるようアドバイスいたしました。その結果、訪問介護を卒業することができ、通いの場などで安全に運動することや趣味・余暇活動の充実に繋がりました。今回、実際の生活を拝見したことで、外来リハビリで関わっていた時には分からなかったことが見え、一緒に奈良健康ランドで入浴したことによりセラピストとしてのアドバイスの幅が広がりました。



これからも経験を積み重ね、利用者様の自立支援ができるよう日々臨陣に励みたいと思います。

(リハビリテーション科 作業療法士 西浦 正典)
理学療法士 淀 亜優美)

活力溢れるレクリエーションを目指して



介護付有料老人ホームやまとでは、入居者様が毎日楽しみを持って過ごしていただけるよう、レクリエーションに力を入れています。

2019年に入ってから、毎週水曜日は音楽療法士の資格を持つスタッフによる音楽療法、毎週木曜日には理学療法士によるリハビリ体操を行い、その他の曜日は日替わりでポッチャボール、カラオケ、DVD鑑賞、紙芝居、ネイル・ハンドマッサージなどを行っています。特にポッチャボールが人気で、いつも時間を忘れるほどの熱戦が繰り広げられています。

他にも毎月のお誕生日会や季節のレクリエーションを実施しており、今年も七夕や運動会、歌合戦とまだまだ楽しい行事を予定しています。

今回はやまとで行われたレクリエーションを2つご紹介します。



5月22日、100歳を迎えられた入居者様のお誕生日会を行いました。ささやかですが、職員一同からメッセージの寄せ書きや花束をプレゼントし、参加者全員によるハッピーバースデーの合唱を送らせていただきました。ご本人様も大変喜んでくださり、入居者の皆様と一緒にケーキを召し上がっていただきました。これからも健やかに毎日を過ごしていただきたいと思います。100歳のお誕生日、本当におめでとうございます。

また5月29日には、やまと正面玄関前駐車場にて焼肉の食レクリエーションを開催しました。参加された入居者様は「美味しい!」とたくさん召し上がってくださいました。いつもと違い、外で食べる昼食に皆様の表情は笑顔に満ち溢れ、お腹も心も満たされました。

今後も私たち職員は入居者様と触れ合い、たくさんの笑顔を引き出すことができるよう、一丸となって様々なレクリエーションに取り組んでまいります。「楽しかった!」「またやりたい!」というありがたいお言葉をいただけるよう、そして何より入居者様の日々のスパイスになることができるよう努力してまいります。

(介護付有料老人ホームやまと 青木 美鈴)



エバーライフ春の日帰りツアー

～ 古き良き文化と中国料理、春のさわやかな風に触れて ～



4月9日、エバーライフ入居者様18名と春の日帰りツアー「四天王寺拝観&大阪水上バスクルーズ」に行ってきました。最初の目的地である四天王寺にはエバーライフから1時間ほどで到着しました。

まず講堂、金堂、五重塔を中心に境内を拝観し、最後に仁王門の前で記念撮影をしました。「境内の雰囲気は素晴らしいけど、外国人の参拝客の多さにびっくりした」とみなさん驚いていらっしゃいました。

続いて大阪城近くのホテル モントレ ラ・スール内にある中国料理「彩雲」で昼食を取りました。高級感溢れる店内で6種類の飲茶や翡翠のスープなど、回転テーブル上の大皿に盛られた料理をみなさんで召し上がっていただきました。めずらしい料理の提供

に喜ばれ、談笑しながら口に運ばれていました。味もさることながらボリュームがあり、みなさん満足した様子で次の目的地に向かいました。

食事の後は水上バス乗り場「大阪城港」へと向かい、ツアーの目玉企画である水上バスでの遊覧です。大阪の中心街を流れる「大川」を約1時間かけて遊覧し、春のさわやかな風が吹く中、大阪城や中之島の中央公会堂、兩岸に咲く満開の桜並木を見ながら最高のクルージングを楽しんでいただきました。ツアーの企画段階では、船酔いするのではないかと不安もありましたがその心配もなく、船内からの景色を写真に収めたり、兩岸の景色を指差しながら楽しまれていたりする姿を見て、本当に良かったと今回担当した職員全員が胸をなでおろしました。

エバーライフが開設してから16年が経つ中でこれまでも様々なイベントを企画してきました。これからも入居者様の健康のことを考え、負担のかからない楽しいイベントを企画し、できるだけ多くの方々にご参加いただけるツアーを目指していきたいと思います。

(エバーライフ サービス課主任 森田 雅文)





奈良東病院グループ
NARA HIGASHI HOSPITAL GROUP

第29回

ふれあい祭り

大抽選会

豪華景品多数!

抽選会受付 13:30~16:30

2019 **8/24** (土)

13:30~20:00頃

※雨天決行(盆踊り等屋外行事のみ中止)

職員や地元の方たちが主体となって賑やかに開催される夏の恒例イベント!

恒例となりました奈良東病院グループの『ふれあい祭り』。今年も子どもさんたち楽しんでいただこうと射的、あてもの、スーパーボールすくい、ヨーヨー釣りなどを準備しております。また、エバーライフ会場では『600年前の庶民喜劇』と言われる『狂言』を初めて開催予定です。暑い一日にはなるとはありますが、皆様のお越しを心からお待ちしております。



奈良東病院グループ
NARA HIGASHI HOSPITAL GROUP

総合相談窓口 TEL.0743-65-5141

天理市中之庄町392-1
<https://www.fureai-net.com>

編集後記

2019年5月1日、30年余りの平成時代が幕を閉じ、新元号『令和』が施行され、新たな時代が幕を開けました。奈良東病院も平成元年に開院し、平成の時代とともに歩んでまいりました。開院後も健和会基本理念の下、国の政策に則り、地域の皆様のご協力を得ながら様々なサービスを展開してまいりました。今後も皆様に選ばれるサービスを推し進めていきたいと思っております。

さて、7月1日より「健康増進法の一部を改正する法律」の施行により病院および介護老人保健施設の敷地内は全て禁煙となります。グループ内では奈良東病院とならぶくじゅ荘が対象となります。喫煙者の皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

これから本格的な夏の到来を迎えますが、今年も8月24日(土)にふれあい祭りを開催いたします。様々なイベント、模擬店、そして新たな企画として『狂言』を開催する予定です。例年通り大抽選会も予定しておりますので、皆様お誘い合わせの上、お越しください。職員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(広報委員長 橋本 重之)

